令和５年度事業別報告書

1　総務

（１）組織運営

① 一般会員・賛助会員の加入状況

自治会、福祉委員と連携をとって一般会員、賛助会員の加入促進を行った。一般会費は自治会加入率の低下、賛助会費についても高齢に伴う辞退などもあり、減少傾向にある。

一般会費　　２００円

賛助会費　　１，０００円

種別		令和５年度	令和４年度	対前年度比
一般会費	世帯	６，０５７世帯	６，２０３世帯	△１４６世帯
賛助会費	企業・個人	１，３２５口	１，３４３口	△１８口

② 事務局体制の整備

・朝礼を毎日行い、職員間の情報共有と業務連携を図った。

・新型コロナウイルス感染症に対応するため、職員の健康管理に努めるとともに、道路交通法の改正により運転者の酒気帯び有無の確認が必要となったため、公用車に乗車する前にはアルコール検知器によるチェックを実施した。

・地区担当制を導入し、地域に出向くことにより、社協職員としての知識の蓄積、事業周知の取り組みができた。

③ 会務の運営

理事会・評議員会の開催

理事会　　年３回開催

評議員会　年２回開催

○第５３回理事会　令和５年６月１３日　小豆島町役場本館　大会議室

第１号議案　令和４年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告について

第２号議案　役員選任候補者の推薦について

第３号議案　評議員選任候補者の推薦について

第４号議案　評議員選任・解任委員会の開催について

第５号議案　第３８回評議員会の招集について

○第３８回評議員会　令和５年６月２９日　小豆島町役場本館　大会議室

第１号議案　令和４年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告について

第２号議案　役員の選任について

○第５４回理事会　令和５年６月２９日　小豆島町役場本館　大会議室

第１号議案　会長・副会長の選任について

第２号議案　第三者委員の選考について

○第５５回理事会　令和６年３月１１日　小豆島町役場本館　大会議室

第１号議案　令和５年度収支補正予算について

第２号議案　令和６年度事業計画について

第３号議案　令和６年度予算について

第４号議案　社会福祉法人　小豆島町社会福祉協議会定款の変更について

第５号議案　社会福祉法人　小豆島町社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について

第６号議案　社会福祉法人　小豆島町社会福祉協議会経理規程の一部改正について

第７号議案　社会福祉法人　小豆島町社会福祉協議会給与規程の一部改正について

第８号議案　社会福祉法人　小豆島町社会福祉協議会就業規則の一部改正について

第９号議案　社会福祉法人　小豆島町社会福祉協議会車両管理運用規程の一部改正について

第 10 号議案 社会福祉法人　小豆島町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について

第 11 号議案 第３９回評議員会の招集について

第 12 号議案 社会福祉法人　小豆島町社会福祉協議会部会及び委員会規程の一部改正について

第１号報告　会長の職務執行状況について

○第３９回評議員会　令和６年３月２１日　小豆島町役場西館　第5会議室

第１号議案　令和５年度収支補正予算について

第２号議案　令和６年度事業計画について

第３号議案　令和６年度予算について

第４号議案　社会福祉法人　小豆島町社会福祉協議会定款の変更について

第５号議案　社会福祉法人　小豆島町社会福祉協議会部会及び委員会規程の一部改正について

（２）相談支援

① 心配ごと相談所の開設

小豆島町心配ごと相談所設置規定に基づき、町民の日常生活上のあらゆる心配ごと相談に応じ、適切な助言指導を行い、福祉の向上を図った。

○開設日　内海会場　毎月第２火曜日　午後１時３０分～午後３時３０分

池田会場　毎月第４火曜日　午後１時３０分～午後３時３０分

○開設日数　２４日

○相談員数　４５名

○相談件数　２６件

② 介護相談員派遣事業

小豆島町から委嘱を受けた介護相談員が、福祉サービス提供事業所へ出向き、サービスを利用する人の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、派遣を受けた事業者における介護サービスの質の向上を図る事業である。

令和５年度は１施設訪問に行った。

（３）広報活動の推進

本社協の社会福祉を目的とする事業に関する普及、宣伝を行った。

○昨年、ホームページをリニューアルし、情報をより分かりやすく、より見やすく発信できるようになった。

○広報誌「ふくしだより」を年２回発行

・ふくしだより第３５号　令和５年９月発行

・ふくしだより第３６号　令和６年４月発行

○町広報誌「しょうどしま」による情報発信

（４）共同募金運動に協力

小豆島町共同募金委員会の運営及び共同募金運動への支援を行った。

○募金活動期間　令和５年１０月１日～令和５年１２月３１日

○募金実績額　４，６９６，０４３円

・世帯募金　４，０７１，７００円

・法人募金　１３３，０１４円

・職域募金　２４９，０００円

・募金箱　１２，８０５円

・街頭募金　１５，９５３円

・自動販売機　２１３，５５９円

・その他の募金　１２円

（５）災害時対応事務

① 小豆圏域ネットワーク会議での取り組み

介護事業者に義務化されたＢＣＰ作成の一助とするため、西日本豪雨で浸水被害があった岡山県真備町の老人福祉施設クレールエイテート遊楽施設長を講師に招き講演会を行った。

② 小豆島町社協としての取り組み

災害時ボランティアセンター設置時の、資器材の備蓄を実施。今後も、計画的に実施していく。

（６）　関係団体との連携

地域福祉の増進を図るため、民生委員児童委員協議会、老人クラブの事務運営への支援を行った。

○小豆島町民生委員児童委員協議会事務運営

○小豆島町老人クラブ連合会事務運営
○内海老人クラブ事務運営
○池田老人クラブ事務運営

2　地域福祉の推進

（１）小地域ネットワーク事業

絆バトン、命の笛の配布事業を実施した。

絆バトンについては、民生委員の定例会やサロン活動などにおいて、その活用についての推奨を行い、新たな設置につなげた。

○絆バトン設置数　　延　２，０３０世帯（５年度　７９世帯）
　　延　２，８５４名（５年度　５０名）
○命の笛設置数　　延　　８２３名（５年度の配布なし）

（２）地域福祉推進事業

地域での福祉活動に対する自治会への助成を行った。

○自治会数　３２自治会
○世帯数　　６，０４２世帯
○助成金額　１，３２９，２４０円（１世帯当たり２２０円）

（３）ボランティア活動・福祉教育の推進

① 地域ボランティア活動促進事業

コロナ禍以前は毎年、高齢者施設入居者と地域ボランティアとの交流や町内の中学生が社会福祉施設での介護等の体験学習及び高齢者との交流事業を行ってきたが、令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を実施することができていない。配食見守りボランティア事業は実施した。

② 福祉委員活動事業

福祉委員の活動について、地区代表者会を２回開催した。

（４）香川おもいやりネットワーク事業

社会福祉法人・施設・社会福祉協議会・民生委員児童委員がつながり、地域の課題を解決するためのネットワーク体制づくり、総合相談・支援事業、人材育成、福祉教育の推進を行った。

○相談件数　　３件
○入居債務保証契約件数　　２件
○現物給付　　１件
○フードバンク　　３８件

（５）福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

香川県社会福祉協議会から委託を受け、判断能力が不十分な認知症高齢

者や知的障害者、精神障害者、日常生活に不安な人など自らの判断で適切にサービスの選択ができない人を対象に、福祉サービスの利用援助や手続きの代行、利用料の支払い、日常的な金銭管理などの援助を行った。

○新規利用契約者数　　２名
○終了者数　　１名
○３月末時点での利用者数　　１３名
○相談支援回数　　１７４回

（６）生活福祉資金貸付事業

香川県社会福祉協議会から委託事業で、低所得者世帯、障害者世帯、高齢者世帯等に対し資金貸付と必要な相談・支援により世帯の経済的自立や在宅福祉、社会参加の促進を図った。新型コロナウイルス感染症による緊急小口資金等特例貸付の償還が、令和５年１月から開始されていることに伴い、借受人への相談・支援、償還免除・猶予申請の受付、未手続借受人への訪問調査及び生活状況把握を行った。必要に応じて自立相談支援機関と連携しフォローアップ支援を行うなど相談体制の強化を図った。貸し付けの実績や相談件数は次の通りである。

○緊急小口資金　　３件　　２３０,０００円
○福祉費　　４件　　３０９,０００円
○相談件数（特例貸付も含む）　　１１７件

（７）生活困窮者自立相談支援事業

香川県からの委託を受け、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立に向けて状況に応じた支援を行った。

なお、総合支援資金特例貸付に関しては、原則、本事業による継続的な支援を受けることが要件となっている。また、８０５０問題や子供たちの貧困問題など対応が難しいケースが増えてきており、相談支援手法の習得などスキルアップが求められている。

○新規相談件数　　４件
○プラン作成件数　　１件

（８）法人成年後見事業

判断能力が十分でない人の権利擁護を行う成年後見制度を本社協が法人として行うもので、家庭裁判所への報告などの業務を行った。また、令和５年度は被後見人が１名死亡し、行政や家庭裁判所とも連携し、死後事務対応まで行った。

○受任件数　　１件（令和６年３月末現在）

（９）生活支援コーディネーター事業

日常生活上の支援が必要である高齢者が、住み慣れた地域で生きがい

を持って在宅生活を継続していくために必要となる生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、小豆島町から委託を受け事業を実施した。

サロン等の代表者を対象に情報交換や意見交換を行うこまめリーダー会議を年２回実施した。こまめリーダー会議に参加しているグループを対象に、サロンの内容等を記載した「小豆島町版 通いの場 PR ブック」を作成し、関係機関や関係者へ配布した。

また、小豆島町主催のオリーブ健康塾によるボランティアの養成研修やステップアップ研修に協力し、ボランティアの育成活動を行った。

（10）一人暮らし高齢者を励ます会

一人暮らし高齢者（７７歳以上）を対象に在宅福祉の向上を図るため、集会所等で交流会等を行っているが、コロナウイルス感染症の影響から、例年に比べて開催会場数、参加者ともに減少していたが、昨年よりは増加した。なお、見守りも兼ねプレゼントや弁当の配布を行った。

○開催状況（年間）

・開催会場数　　１１会場
・参加者数　　２０５名（対象者：１１２名、世話人：９３名）

○池田地区合同開催

・開催会場数　　４会場
・参加者数　　４６名（対象者：２８名、世話人１８名）
・弁当配布数　　８９個

○欠席者へのプレゼント

・プレゼント配布数　　３３３個

（11）配食サービス事業

食事を作ることが困難な高齢者世帯に対し、栄養のバランスの取れた食事を提供するとともに、安否確認を行うことを目的とした事業で、小豆島町から事業委託されている。

○利用者数　　３７名（令和６年３月末現在）
　月曜日　２１名
　火曜日　１８名
　水曜日　２１名
　木曜日　１４名
　金曜日　２８名
○配食数　　延　４，９０５食

（12）生活支援サービス事業

在宅の高齢者に対し、軽度な日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活の継続を図るとともに、要介護状態への進行・悪化を防止す

ることを目的とした事業であり、小豆島町地域包括支援センターのマネジメントに基づき当協議会が委託を受け、実施している。

○利用者数　　３５名（令和６年３月末現在）

○支援時間　　延　１３２１．７時間

(13) 防水シーツ配布事業

民生委員児童委員協力を得て、在宅で寝たきりの方を対象に防水シーツの配布を行った。

・配布人数　　５０名（配布枚数１００枚）

(14) 福祉機器貸出事業

車いすの貸出を行なった。

○車いす貸出件数　　２９件

(15) 葬祭具貸出事業

祭壇の貸出はなかった。